



IWATE BANK NEWS LETTER



2019年3月25日
株式会社 岩手銀行

「いわて飛躍応援ファンド」による第2号案件 セルスペクト株式会社の劣後融資の実施について

株式会社岩手銀行（頭取 田口幸雄、以下「岩手銀行」という）と、株式会社日本政策投資銀行（社長 渡辺一、以下「DBJ」という）が共同で出資する「いわて飛躍応援投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」という）は、第2号案件として、セルスペクト株式会社（本社 岩手県盛岡市、代表取締役社長 岩渕拓也、以下「当社」という）に対して融資を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 融資実行先の概要

企業名	セルスペクト株式会社
代表者	代表取締役 岩渕 拓也
本社所在地	岩手県盛岡市北飯岡1丁目10-82
事業内容	<p>岩手県盛岡市を拠点にITと医療を融合した医療機器や検査キットの製造および診断薬の研究開発を手掛けており、近時普及拡大傾向にある「ヘルスケア」や「POCT（Point Of Care Testing：手軽にかつ迅速に行える臨床検査）」という概念の下、次世代に求められる新たな医療診断アイテムの訴求として「小型化」「低侵襲化」「医療の個別化」の3要素に着目し研究を行っております。</p> <p>また、研究の過程で、遠心力を要しない血しょう分離検査キットや小型分析装置を開発し・その製品化まで行っております。</p> <p>医療とITを融合した「ヘルステック」という従来にはなかった取り組みが注目され、経済産業省による「地域未来牽引企業」への選定や「ジャパンベンチャーアワード2017 中小機構理事長賞」の受賞など各所より高い評価を得ております。</p>

2. 融資案件の概要

当ファンドは、当社に対して、岩手銀行および日本政策金融公庫とともに総額12億円の協調融資を実施し、当社の事業化に向けた成長資金を供給することで、岩手から世界へ先進的な医療機器を展開するとともに、それによる人々の健康増進および医療の高度化・被験者のQOL（Quality Of Life）向上を支援するものです。





IWATE BANK NEWS LETTER

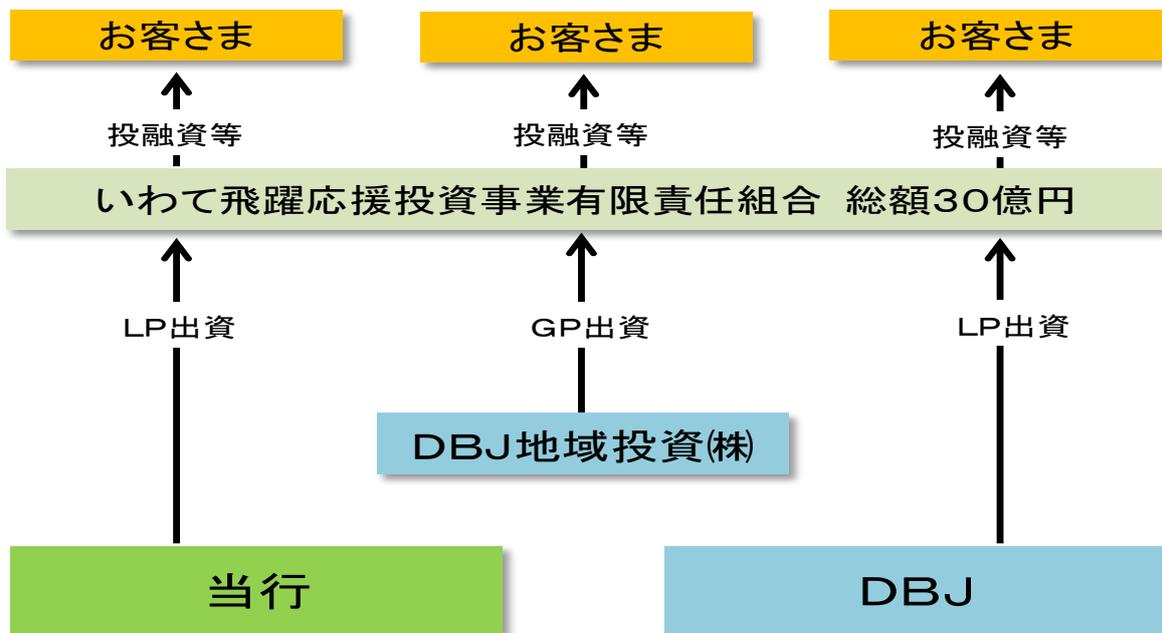


【当ファンドの概要】

- (1) 名称 いわて飛躍応援投資事業有限責任組合
- (2) 規模 30億円
- (3) 設立 2018年9月14日
- (4) 出資者 無限責任組合員（GP）： DBJ地域投資(株)
有限責任組合員（LP）： 当行、DBJ
- (5) 期間 投資期間5年間、存続期間12年間

※ 当ファンドは、2018年9月に当行とDBJにて、地域の持続的な経済発展に向けた成長資金を供給することを目的として設立。

【当ファンドのスキーム図】



以上

<本件に関するお問い合わせ先>
 岩手銀行法人戦略部 佐藤、品川
 電話 019-624-7016

